

不登校児童生徒への学習機会と支援の在り方について

令和4年（2022年）7月21日（木）、Web会議システムを活用し、第1回渡島管内地域いじめ問題等対策連絡協議会を開催しました。本協議会では、「不登校児童生徒への学習機会と支援の在り方について」を協議題に、学校、教育委員会、関係機関等における取組について、各会員から御意見をいただきました。



会員から（協議題 「不登校児童生徒への学習機会と支援の在り方について」）

【教育機関等】

- ◆ **函館市小学校長会（函館市立北昭和小学校長）** **井田 隆幸 会員**
児童生徒が安心して通える学校づくり、学習内容の確実な定着を目指す授業づくり、児童生徒が互いを思いやる人間関係づくりを各学校で充実させ、不登校の未然防止の取組を進めている。
- ◆ **渡島小中学校長会（森町立森中学校長）** **石川 宏司 会員**
1人1台端末を活用し、不登校児童生徒等へ授業のオンライン配信、クラウド等を活用した課題送付、登校復帰を目指した校内の別室における授業参加等、児童生徒及びその保護者と協議の上、取組を進めている。
- ◆ **北海道高等学校長協会道南支部（北海道函館中部高等学校長）** **佐竹 卓 会員**
不登校生徒が増加傾向にあることから、SC及びSSW、首長部局等の関係機関とこれまで以上に連携を強め、生徒一人一人の心に寄り添うようにしている。また、別室登校から通常登校へとスモールステップで登校復帰につなげられるよう、校内体制を整えている。
- ◆ **北海道特別支援学校長会道南支部（北海道北斗高等支援学校長）** **吉野 隆宏 会員**
発達障がいのある生徒は、その不安や悩みから不登校となることが多いため、医療機関と連携し、サポート体制を整えている。また、生徒の学習内容の理解が高まるよう、生徒一人一人の障がいに応じた授業づくりを進めている。
- ◆ **函館地区私立高等学校長会（函館大学付属有斗高等学校長）** **山田 伸二 会員**
中学校で不登校傾向であった生徒が高等学校において不登校となるケースが見受けられるため、中学校における登校状況の把握から、適切な支援につなげることができるよう、中学校との連携を強めている。
- ◆ **渡島管内教育委員会教育長会（松前町教育委員会教育長）** **宮島 武司 会員**
校区が広域な学校もあるため、学校外に不登校児童生徒の支援を行える施設を複数開設し、遠隔地の児童生徒でも通えるようにしている。また、教育委員会を含め、小・中学校及び高等学校が組織的に不登校支援に取り組むことができるよう、改善策等を検討する会議を開催している。
- ◆ **函館市教育委員会学校教育部教育指導課指導主事** **名古屋 貞治 会員**
函館市では、不登校児童生徒への学校における対応や関係機関との連携等について、保護者向けのリーフレットを作成し、全児童生徒に配布するとともに、市教委のHPからも閲覧できるようにしている。また、各学校に対し、不登校や特別な配慮を要する児童生徒の理解や対応に関わる研修を実施するよう、促している。



教育機関等に求められる取組

- ICTやオンラインを活用した学習支援や体験活動等を実施し、その取組状況を把握の上、指導要録上の出席扱いとしたり、学習評価に反映したりすること
- ICTやオンラインの活用も視野に入れつつ、校内の別室を活用した学校内の居場所づくりを行うこと
- 学校内外における相談・指導等につなげていない児童生徒に対し、適切な教育機会を確保するため、関係機関等と連携したアウトリーチ型支援を進めること

【関係機関等】

- ◆ **渡島PTA連合会（長万部町立長万部中学校教頭）** **猪狩 武彦 会員**
家族の絆や命の大切さについて家庭で話し合う機会づくりのために、「三行詩コンクール」を実施している。また、学校、家庭、地域が連携した人権教育の推進や家庭内における子どもの悩みに寄り添える関係づくり等に向けて、研修を企画している。



【関係機関等】

- ◆ **北海道高等学校 PTA 連合会道南支部（北海道函館工業高等学校 PTA 生活委員長）植村 恭子 会員**
高校生の健全育成及び高校教育の充実を図るため、当面する諸問題の解決に向けて研修を実施している。また、今年度は「高校生と語る集い」を開催し、保護者と高校生が共通のテーマに基づいて語り合うことにより、相互理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の育成や社会人としての資質・能力の向上を目指している。
- ◆ **渡島管内地域子ども会育成連絡協議会長 小出 政彦 会員**
子ども会は、異年齢集団で活動することを通して、友達づくりを促すことや、主体的に行動する力を養うことを目指している。健全な子どもの育成に向けて、大人が適切に関わりながら活動を行っている。
- ◆ **渡島管内社会教育委員連絡協議会長 池田 孝道 会員**
管内各地域において社会教育委員が、スポーツや芸術、文化の活動、地域づくりの活動を通して、子ども一人一人の学びを深めるだけでなく、地域住民同士の絆を深める取組を進めている。日頃から安心して子育てができるつながりづくりという側面からアプローチしている。
- ◆ **北海道函館児童相談所地域支援課長 北原 淳 会員**
児童相談所では、保護者から相談等を受け、各学校と連携して面接指導や心理検査を実施し、今後の当該児童生徒の進路について助言を行うなど、専門的な視点で当該児童生徒及びその保護者へ働きかけを行っている。
- ◆ **北海道警察函館方面本部生活安全課生活安全・少年係長 森野 雄一 会員**
北海道警察では、子どもの居場所づくりとして「少年警察ボランティア」を実施している。農業体験やボランティア活動を警察官等と一緒にやり、周りから感謝される経験を通して、子どもに自己肯定感を高めるとともに、新たな居場所づくりに向けて取り組んでいる。
- ◆ **函館地方法務局人権擁護課長 中尾 秀和 会員**
函館地方法務局人権擁護課では、SOS ミニレーター及びインターネット相談、子ども人権 110 番を通じて、相談を受け付けている。事案に応じて、学校と連携し解消に向けて取り組むなど、いじめ・不登校等を含めた人権に関わる諸問題へ対応している。
- ◆ **函館人権擁護委員協議会長 川合 裕紀子 会員**
函館人権擁護委員協議会では、各学校において人権教室を実施し、生命や互いの人権を尊重することの大切さを伝える取組を推進している。また、函館地方法務局人権擁護課と連携し、子どもたちの相談に寄り添い、対応にあたっている。
- ◆ **フリースクール等（函館圏フリースクールすまいる代表） 庄司 証 会員**
函館圏フリースクールすまいるでは、「児童生徒の学ぶ場の選択肢を増やし、一人でも多くの児童生徒に学ぶ機会の提供をする」という理念の下、不登校児童生徒に寄り添った支援を実施している。最近では、不登校であってもネット上の友人等とのつながりがあることで、児童生徒の心理的安定が図られるなど、児童生徒の様子が変わってきていると感じているところである。今後は、北海道フリースクールネットワークを活用し、通所している児童生徒同士の交流の場において、児童生徒が人とのつながりを感じられるよう、フリースクール同士の交流を進めたいと考えている。



関係機関等における取組

- 不登校児童生徒への支援の充実を図るとともに、保護者が抱える不安や困難に寄り添った家庭教育への支援の充実を図ること
- 児童生徒が将来的に、精神的にも経済的にも自立し、豊かな人生を送れるよう、様々な機関がそれぞれの立場からアプローチするとともに、連携して取り組むこと

北海道いじめ問題等解決支援外部専門家チーム員（北海道教育大学函館校准教授）

本田 真大 会員

不登校児童生徒への ICT を活用した学習支援については、今後も継続して行うとともに、遠隔地の児童生徒もその支援を受けることができるよう、市町教育委員会がセンター的機能を担うなど、ICT の活用についてさらに発展させる必要がある。

小・中学校及び義務教育学校においては、高等学校への登校意欲につなげるための取組が大切である。その際は、スクールカウンセラーを活用するなどして、学校環境の変化に対応できるよう、児童生徒の内面を育てるような働きかけが必要である。

